

議案外質問(11月26日) さはしあこ議員

## 小学校の給食調理は市の直営で 安心・安全な食を守ろう



さはしあこ議員は11月26日の本会議で、小学校給食の民間委託について質問しました。

### 西山小(名東区)、大清水小(緑区)、 荒子小(中川区)をまず委託

小学校給食の調理業務について、名古屋市は自校方式で直営を堅持してきましたが、来年度の4月から、名東区の西山小学校、緑区の大清水小学校、中川区の荒子小学校の3校で民間委託を開始する計画があきらかになりました。

### 人員削減してきたので、安定供給するためには委託が必要(教育長)

さはし議員が「なぜ調理業務を民間委託へ踏み切るのか。小学校262校から3校を対象とした理由はなにか」とただすと、教育長は「合理化で退職者を不補充してきたが、限られた人員を有効かつ効率的に活用するためには、調理業務の委託が必要」「経費的なメリットが生み出せるよう規模の大きい学校から選んだ」と答えました。

### 子どもを見守る一員としての調理員 を民間に置き換えるな

さはし議員は、アレルギー対応や調理現場でのきめ細やかな作業経験の継承をはじめ、子どもたちとの交流、突発事故への対応などなどのノウハウなど、様々な問題点があることを指摘し「委託の必要性はない」と追及しました。教育長は「国や市の基準をしっかりと守り、十分な引き継ぎも実施し、声掛けなどの指導も行う」と回答。

### 結局、教育も「お金が一番」

さはし議員は「小学校給食は教育の一環であり、教育委員会が責任を持っている、と教育長はいうが、だからこそ直営を守るべきだ」と指摘しましたが、教育長は「定数削減は教育委員会にも等しく求められている」というだけでした。

さはし議員は「子どもの命を守るよりお金なんですね」と市の姿勢を厳しく批判しました。

## 公害資料館を

名古屋南部大気汚染公害訴訟などから、名古屋市民を苦しめた大気汚染の実態を学ぶ場を

さはしあこ議員は、名古屋の公害の歴史を学び伝える取り組みについて質問しました。

### エコパルなごやの活用を検討 (局長)

さはし議員は環境学習センター(エコパルなごや)の活用を提案しました。環境局長は「展示スペースをどう確保するかなどの課題はあるが、公害の歴史を学び、後世に伝えていくことは有意義であり、今後、環境学習センターの活用を検討したい」と答弁しました。

### 四日市公害記念館を調査

名古屋南部大気汚染公害訴訟をたたかった公害患者のみなさんなどから、公害に関する資料や裁判記録などを収集・保管、展示する「公害資料館(仮称)」の整備を求める声が上がっています。「四日市ぜんそく」



が社会問題となった四日市市では、今年4月、「四日市公害と環境未来館」が開館しました。党市議団が10月に四日市市を訪れ視察しました(写真)。公害とたたかってきた市民の証言も耳にすることもできる施設です。

### 公害の歴史を伝える第1歩に

名古屋南部公害の歴史を学び、後世に伝えるためには、このような公害資料館の整備が求められますが、環境学習センターで公害の歴史を伝える取り組みを始めることはその一歩となります。